



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

東

上場会社名 株式会社中山製鋼所 上場取引所
 コード番号 5408 URL <https://www.nakayama-steel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営本部長 (氏名) 阪口 光昭 (TEL) 06-6555-3035
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	93,273	27.1	7,780	235.3	7,711	272.5	5,976	370.4
2022年3月期第2四半期	73,361	40.3	2,320	138.4	2,069	92.8	1,270	46.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5,960百万円(335.4%) 2022年3月期第2四半期 1,369百万円(42.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 110.39	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	23.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	156,958	94,242	60.0
2022年3月期	143,618	88,931	61.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 94,242百万円 2022年3月期 88,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	4.00	—	12.00	16.00
2023年3月期	—	33.00			
2023年3月期(予想)			—	14.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	187,000	12.2	12,800	76.5	12,500	87.8	9,600	99.3	177.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
除外 1社(社名) 中山三星建材株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	63,079,256株	2022年3月期	63,079,256株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	8,942,757株	2022年3月期	8,942,656株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	54,136,565株	2022年3月期2Q	54,136,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大抑制を図りながら行動制限は緩和されつつあり、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかながら持ち直しの動きが見られました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原燃料価格の高騰やそれに伴う物価上昇、円安の進行など、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、製造業向け需要は、産業機械向けは一部で内外需要の回復により増加傾向にあるものの、自動車向けは半導体など部品の供給制約から減少基調が続いており、建築向け需要は大型案件の堅調ぶりがみられる一方で中小案件の回復は鈍い状況でした。また、海外製品市況やスクラップなど原料価格の下落に伴う需要家の値下げ期待による当用買いも見られ、総じて弱含みで推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、本年5月10日に公表しました中期経営計画（2022年度～2024年度）の重点方針に沿って、当社グループが掲げた目標の達成を目指して施策を実行してまいりました。

「“中山らしさ”の追求、グループ一体での付加価値向上による連結収益最大化」においては、4月1日に完全子会社の中山三星建材株式会社を合併して母材のホットコイルから加工製品までの一貫メーカーとしての強みを発揮するよう取り組んでおります。また、完全子会社の三泉シャヤ株式会社の第2工場を当社構内に建設しておりますが、当初の予定を繰り上げ本年度中の立ち上げを目指しております。

「カーボンニュートラル・循環型社会の実現に向けた取り組み強化」においては、電気炉生産量の増加を図るとともに各工場での歩留の改善などを推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高932億73百万円（前年同期比199億12百万円増）、営業利益77億80百万円（前年同期比54億60百万円の増益）、経常利益77億11百万円（前年同期比56億41百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益59億76百万円（前年同期比47億5百万円の増益）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、前年同期比で鋼材販売数量の減少、主原料であるスクラップ価格や鋼片価格の上昇、電力・ガスなどのエネルギーコストの増加がありました。鋼材販売価格の改善により鋼材スプレッドが拡大した効果が大きく、増収増益となりました。これらの結果、売上高は918億39百万円（前年同期比196億96百万円増）、経常利益は74億12百万円（前年同期比52億84百万円の増益）となりました。

エンジニアリングにつきましては、鋳機部門の受注が増加したことなどにより、売上高は9億7百万円（前年同期比1億4百万円増）、経常利益は10百万円（前年同期比8百万円の減益）となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は5億26百万円（前年同期比1億11百万円増）、経常利益は3億53百万円（前年同期比73百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,569億58百万円となり、前連結会計年度末と比べ133億40百万円増加しました。これは主として、鋼材販売価格及び原材料価格の上昇に伴い、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権並びに棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が増加したことによるものであります。

負債については、627億16百万円となり、前連結会計年度末と比べ80億29百万円増加しました。これは主として、原材料価格の上昇などにより支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が増加したことや、短期借入金の借り入れ等によるものであります。

純資産については、942億42百万円となり、前連結会計年度末と比べ53億10百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や原燃料価格の高騰、サプライチェーンの混乱による生産活動の停滞など先行き不透明な状況が続くことが懸念されます。国内の鋼材需要は、建築・土木向けや製造業向けの一部で回復傾向にあるものの、国内の在庫調整の遅れから横ばいで推移するものと思われます。また、燃料価格の高騰や大幅な円安の影響により電力・ガスなどのエネルギーコストは上昇が見込まれます。

これらの状況から、2023年3月期業績予想につきましては、鋼材販売数量及び鋼材販売価格は前回公表時（8月4日）の想定を下回る見通しであり、さらに、電力・ガスなどのエネルギーコストの上昇が見込まれますが、一方で、主原料価格が前回公表を下回る水準で推移することが予想されます。これらにより、売上高は前回公表値を下回る見通しですが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表値を上回る見通しです。

以上の状況を踏まえ、2023年3月期通期の連結業績予想につきまして、売上高1,870億円、営業利益128億円、経常利益125億円、親会社株主に帰属する当期純利益96億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,765	17,520
受取手形、売掛金及び契約資産	31,538	38,019
電子記録債権	7,386	9,494
商品及び製品	17,338	18,670
仕掛品	3,284	5,631
原材料及び貯蔵品	15,815	16,185
その他	1,654	747
貸倒引当金	△94	△82
流動資産合計	92,688	106,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,823	6,807
機械及び装置（純額）	12,992	13,371
土地	23,033	23,022
その他（純額）	1,247	1,483
有形固定資産合計	44,097	44,685
無形固定資産	273	547
投資その他の資産		
投資有価証券	2,785	2,808
差入保証金	2,352	1,351
その他	1,463	1,418
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	6,559	5,537
固定資産合計	50,929	50,770
資産合計	143,618	156,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,750	24,089
電子記録債務	1,356	1,751
短期借入金	7,674	11,634
1年内償還予定の社債	42	48
未払金	2,040	2,366
未払費用	1,444	1,653
未払法人税等	1,565	2,694
賞与引当金	853	895
環境対策引当金	9	44
その他	638	1,105
流動負債合計	37,375	46,283
固定負債		
社債	27	—
長期借入金	8,249	7,934
繰延税金負債	3,472	2,692
再評価に係る繰延税金負債	1,001	1,001
環境対策引当金	415	399
解体撤去引当金	404	404
関係会社事業損失引当金	42	58
退職給付に係る負債	2,577	2,624
その他	1,121	1,316
固定負債合計	17,311	16,432
負債合計	54,686	62,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,826
利益剰余金	58,364	63,700
自己株式	△775	△775
株主資本合計	85,459	90,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,043	1,021
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	2,444	2,435
退職給付に係る調整累計額	△16	△9
その他の包括利益累計額合計	3,471	3,446
純資産合計	88,931	94,242
負債純資産合計	143,618	156,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	73,361	93,273
売上原価	64,915	79,477
売上総利益	8,446	13,796
販売費及び一般管理費		
販売費	3,035	2,612
一般管理費	3,091	3,403
販売費及び一般管理費合計	6,126	6,016
営業利益	2,320	7,780
営業外収益		
受取利息	29	28
受取配当金	34	45
持分法による投資利益	65	94
負ののれん償却額	1	—
その他	66	87
営業外収益合計	197	256
営業外費用		
支払利息	48	123
賃借料	73	74
その他	325	127
営業外費用合計	447	325
経常利益	2,069	7,711
特別利益		
スクラップ売却益	—	539
受取保険金	—	152
固定資産売却益	11	3
その他	36	11
特別利益合計	48	707
特別損失		
固定資産除却損	203	478
損害賠償金	—	152
その他	4	38
特別損失合計	207	669
税金等調整前四半期純利益	1,910	7,748
法人税、住民税及び事業税	682	2,548
法人税等調整額	△42	△775
法人税等合計	640	1,772
四半期純利益	1,270	5,976
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,270	5,976

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	1,270	5,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	△22
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整額	10	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	98	△15
四半期包括利益	1,369	5,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,369	5,960
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	72,143	803	—	72,946	—	72,946
その他の収益	—	—	414	414	—	414
外部顧客への売上高	72,143	803	414	73,361	—	73,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	132	81	188	402	△402	—
計	72,275	885	603	73,764	△402	73,361
セグメント利益 (経常利益)	2,127	18	279	2,425	△355	2,069

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	2,425
セグメント間取引消去	△3
全社営業外損益(注)	△352
四半期連結損益計算書の経常利益	2,069

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	91,839	907	—	92,747	—	92,747
その他の収益	—	—	526	526	—	526
外部顧客への売上高	91,839	907	526	93,273	—	93,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	15	143	312	△312	—
計	91,993	922	669	93,586	△312	93,273
セグメント利益 (経常利益)	7,412	10	353	7,776	△65	7,711

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	7,776
セグメント間取引消去	△7
全社営業外損益(注)	△57
四半期連結損益計算書の経常利益	7,711

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

3. その他
(参考資料)

(単 独) 売 上 高 内 訳 表

(単位：百万円)

		2021年度	2022年度(注)	増 減
		上期 ①	上期 ②	前年同期比 (②-①)
鋼 材		53,264	72,230	18,965
販売数量	千ト	(589.4)	(541.7)	(△47.7)
販売単価	千円/ト	(90.4)	(133.3)	(43.0)
そ の 他		1,749	1,892	142
合 計		55,013	74,122	19,108
(うち、輸出)		(3,481)	(3,422)	(△58)

(注) 2022年4月1日付で中山三星建材株式会社を吸収合併しており、当連結会計年度より合併による影響を含めて表示しております。